



# ジュニア ミュージアム



「あいさつはすーい」

国神小4年

堀江 琉生さん



ぼくは四年生になって、すごいと思った人がいます。その人は元気な声で気持ちのよいあいさつをいつもしています。あいさつを受けるととてもうれしい気持ちになります。ぼくも気持ちのよいあいさつをしたいです。五月からは、大きな声ではっきり気持ちのよいあいさつをしたいと思います。

そのためにぼくががんばりたいことがあります。それは、相手の目を見てはっきりあいさつをすることです。相手にしっかりとあいさつをする、する側もされる側もうれしい気持ちになるので、あいさつはとても大切だと思います。

これからは、毎日大きな声ではっきりあいさつをしたいです。あいさつはとてもすごいと思います。ぼくも友達のようなあいさつ名人になって、気持ちのよいあいさつができるようになりたいです。がんばります。

（評）友だちの良さを今年度の自分自身の成長につなげようとする態度がみられます。

皆野小6年

大澤 咲貴さん



（評）筆を使わずに、花火を見た感動を表現することができましたね。

皆野中1年  
眞下 幸之助さん



（本人のコメント）本物に近いハサミにして、よく切れるように見える絵を描こうと思いました。

「夜空にかがやく大花火」



中学校初めてのスケッチ  
「よく切れるハサミ」



国神小6年

持田 晃成さん



（評）三つの部分の組み立て方に気をつけながら、伸び伸びと書けました。

皆野小5年

宮下 侑也さん



（評）一画一画丁寧に、大きく書けましたね。はらいも丁寧です。

児童の見守り放送

国神小6年

黒澤 蒼汰さん



小六 持田 晃成